

昭和57年度宇宙開発委員会
外国技術者招へいについて(案)

昭和57年6月16日

宇宙開発委員会

決 定

昭和57年度における宇宙開発委員会外国技術者招へい
として、カナダ省間宇宙委員会委員長の David Low
博士を6月28日～7月4日の間、招へいすることとする。

参考

招へい日程

- 6月28日(月) 事前打合せ
- 29日(火) 宇宙開発委員会
宇宙開発事業団
- 30日(水) 宇宙開発事業団筑波宇宙センター
郵政省電波研究所鹿島支所
- 7月 1日(木) 文部省宇宙科学研究所
- 2日(金) 日本電気横浜工場
三菱電機鎌倉製作所
- 4日(日) 離日

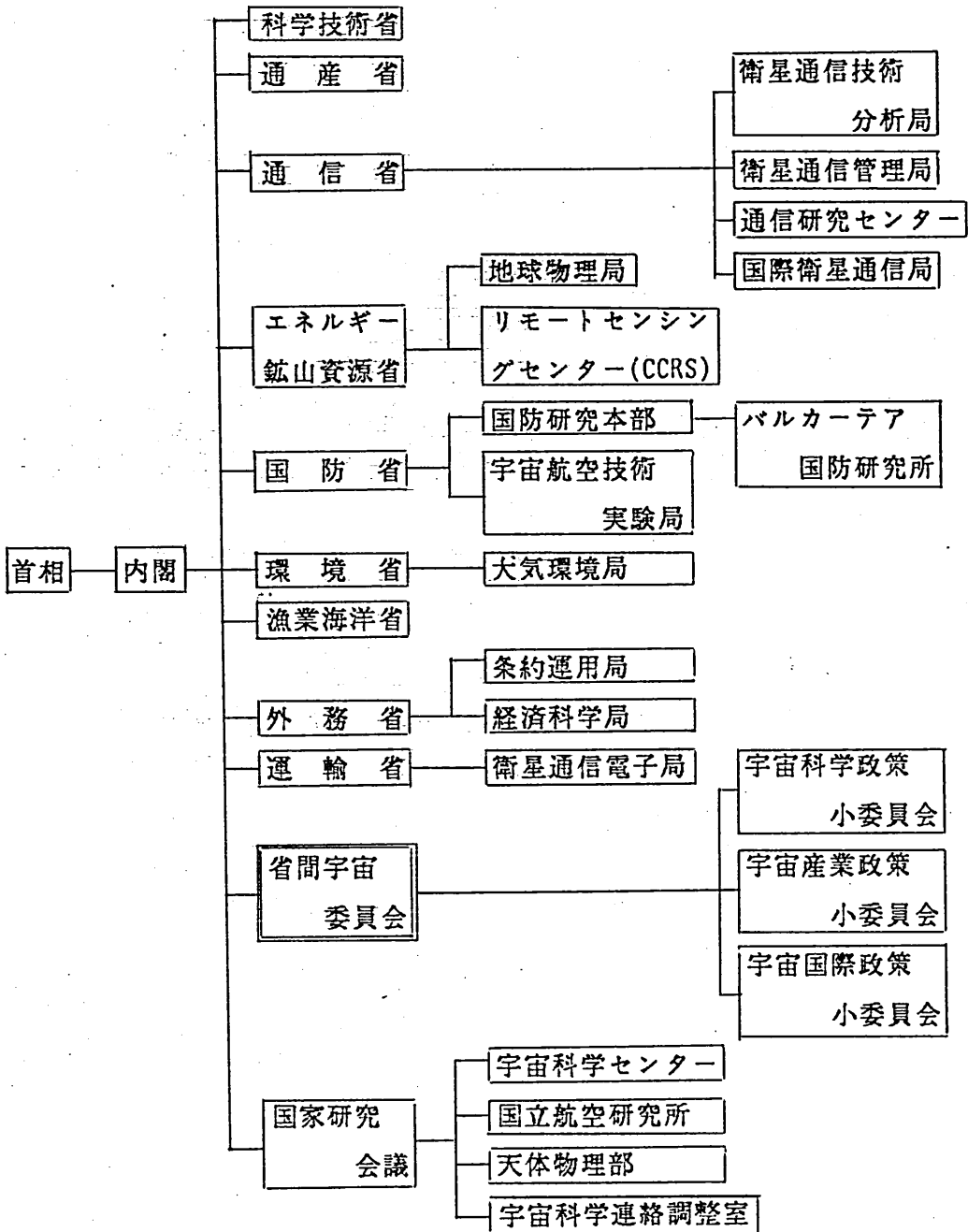
略 歴

ディビッド・ロー博士

カナダ省間宇宙委員会委員長(1980年より在任)

- | | |
|----------|----------------------------|
| 1957年 | クイーンズ大学卒業 |
| 1961年 | ケンブリッジ大学で博士号を得る |
| 1961～66年 | 国家研究会議 応用化学課 |
| 1966～68年 | 英国の石油会社 |
| 1968～74年 | 内閣官房次官補 |
| 1974年以降 | 科学技術省 政治局部長
科学技術省 大学局局長 |
| 1980年以降 | 省間宇宙委員会委員長 |

1. 宇宙開発体制



(注) 省間宇宙委員会は、1969年に設置され、政府機関の宇宙活動についての政策、企画、財源等の有効利用及び調整に関して勧告を行うことを主要な任務としている。委員会は各省代表から構成され、現在科学技術省が事務局を務めている。

2. 宇宙開発予算

項目 \ 年度	1977	1978	1979	1980	1981
通信省 (衛星運用、衛星通信システム 科学研究等)	19.4	30.6	30.9	33.3	34.0
エネルギー・鉱山資源省 (リモートセンシング計画等)	4.6	9.4	7.7	9.1	19.4
国家研究会議 (宇宙研究等)	33.0	35.2	18.6	15.7	18.5
漁業海洋省	—	—	0.2	0.3	0.6
通産省	1.6	3.1	2.3	1.5	3.2
運輸省	0.8	0.6	0.2	—	0.1
環境省	2.5	3.3	2.4	4.5	6.3
計	61.9	82.2	62.3	64.4	82.1

(単位:百万カナダドル)

3. 宇宙開発の現状

カナダの宇宙開発は、省間宇宙委員会の調整のもとに、通信省、エネルギー・鉱山資源省、国家研究会議等により実施されている。

カナダは、衛星打上げ用ロケットを所有していないこともあり、宇宙開発はそのほとんどが、国際協力という形で進められている。

科学分野においては、電離層の観測を目的としたアルエット・ISIS衛星計画を実施し、それぞれ2個ずつのアルエット衛星及びISIS衛星をアメリカの協力により打ち上げた。

実利用分野においては、政府が株主となっている通信会社テレサットカナダにより、国内通信衛星計画を推進しており、既に4個の静止通信衛星アニクを打ち上げ運用している。

カナダリモートセンシングセンター(CCRS)において、アメリカの地球観測衛星ランドサットからのデータ受信及び処理を行っている。

またNASAとの協力の下にスペースシャトルのリモートマニピュレーターの開発を行っている。

4. 宇宙分野における日加協力

日加科学技術協議の下に、以下の協力が実施されている。

項 目	日 本 側	加 側
研究用ロケット打上げ	文 部 省	国家研究会議
地球観測	科 技 庁	CCRS
通信・放送衛星技術	郵 政 省	通 信 省
電離層観測衛星	〃	〃